

東陽の旋風~自立貢献~

令和4年9月22日(木) No 20発行 文責:松本 卓也

確かな学力の育成に向けて ~家庭学習のススメ Part2~

4月19日(火)・20日(水)に実施された全国学力・学習状況調査(3年国語・数学・理科)、並びに八代市学力・学習状況調査(3年社会・英語、1·2年国語・社会・数学・理科・英語)の結果についてお知らせします。

(1) 全国学力・学習状況調査

_	<u>(</u>	<u> </u>			
I		国語	数学	理科	
I	3年生	全国・県平均を上回った	県平均を上回った	全国・県平均を上回った	

(2) 八代市学力・学習状況調査

	国語	社会	数学	理科	英語	
1年生	▼	≒	≒	≒	≒	
2 年生	\triangle	≒	≒	≒	≒	
3年生		÷			•	

目標値に対し、

- 5ポイント以上上回っているを△
- ・同程度 (±5ポイント内) を≒
- ・5ポイント以上下回っているを▼で表示

調査結果から、本校生徒の学習状況はおおむね良好である一方、

1年生国語、3年生英語に課題があることがわかりました。夢を実現するための礎となる「確かな学力」の育成に向け、①授業改善と②学習習慣の育成に、さらに力を入れていきたいと思います。

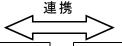
具体的には、①授業改善では、課題解決型授業や対話型の授業等、八代市が進めている「授業改善ステップワン」をすべての授業で実践し、校内研修等で検証・改善しながら全職員での取組を進めていきます。②学習習慣の育成では、2 学期からスタートした「toyo スタディタイム」を、ご家庭での支援をいただきながら継続して取り組んでいきます。ご家庭でのお子様の学びの姿について、保護者の皆様の側面からの支援(ペースメーカー・サポーター・ファシリテーター ※詳細は下記参照)をお願いいたします。





※「toyo スタディタイム」:毎日の家庭学習を自ら計画を立てて、決まった時刻(あるいは一定の時間)に学習する取組

学校



家庭

【授業と家庭学習をつなげる】

- ○授業中に家庭学習につながる 声かけをしたり、学習内容等 を示したりする。
- ○生徒自身が更なる問い(もっとやってみよう)を見つけられるよう な声かけを行う。
- ○学校で、その日の学習内容について計画を 立てさせる。(foyoスタ示ィタイム)

【やる気を引きだす】

- ○個に応じた家庭学習を出す。(スタディサ プリ、夏休み2種類の課題)
- ○頑張りを認める。次につながるアドバイスをする。

「家庭ではどのようなことをすればいいか?」方法や内容等を具体的に支援

【ペースメーカー】

○学習を促したり、生活環境を整 えたりすることで、規則正しい 学習や生活の習慣形成を支援す



【サポーター】

○子どもが学習から逃げたくなったり、自信をなくしたりしたときに、アドバイス したり話し相手になったりして、心の支 えになる。

【ファシリテーター】

○教材の準備や学習スペースの確保、静寂 な時間の保障などの条件整備を通して、 良好な学習環境を構成する。

家庭学習の効果を高める学習環境等、 側面からの支援

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名(

)